

〈12月～2月の主な活動〉

12/7 議員全員協議会	1/4 松前町新春年賀のつどい出席
12/12 本会議（開議） 町内視察 （江川団地など3か所）	1/7 二十歳の記念式
12/16 拉致問題啓発パレード参加 三世代しめ縄作り	1/12 広報委員会
12/18 本会議（一般質問）	1/14 松前町消防出初式出席
12/19 総務産業建設常任委員会	1/18 臨時議会
12/21 予算決算常任委員会	総務産業建設委員会
12/23 ふれあいいきいきサロン	1/23・24 広報委員会研修（福岡県）
12/25 本会議（閉議）	1/26 議員全員協議会
	2/3 コムズフェスティバル出席
	2/4 公民館研究大会出席
	2/14 共立衛生組合定例会（塩美園）
	2/17 議会報告会

〈プロフィール〉

～1992年	エンゼル幼稚園卒園、岡田小・中学校卒業
1995年	伊予高校卒業
2000年	同志社大学文学部心理学専攻卒業
2000年	株式会社リーブ21入社（大阪本社にて総合職）
2009年	西濃運輸株式会社（本社付けにて総合事務職）
2023年	エンゼル学園（学童保育指導員）

松前町議会議員 重松 ともゆき

（連絡先）

〒791-3134 松前町西古泉137-4

電話 090-9699-1529

E-mail : shige76shige76@gmail.com

重松ともゆき

検索



重松 ともゆき
SHIGEMATSU TOMOYUKI

後援会だより

VOL.2 2024年 2月号



皆さまこんにちは。

西古泉の重松ともゆきです。

この度後援会だよりVOL.2発行の運びとなりました。日ごろから応援していただいている皆様方にこの場を借りて感謝申し上げます。

【12月議会にて一般質問を行いました】

さて、昨年12月議会が12/12から開議し、12/18の一般質問では私重松ともゆきは町議会議員になって初めて登壇しました。

ちなみに一般質問とは、議員が、町の施策等に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や課題などを町長などの執行機関に直接質すことです。内容いかんでは、質問に対して行政側が動いてくれることもあり、非常に大切な場所だと思います。

この日は、諸先輩がたの配慮もあり、トップバッターを務めさせていただきました。質問内容は、〈町政について〉①今後のかじ取りをどう行うか ②人口減少にどう対応するか ③総合病院の誘致 〈大人の引きこもりについて〉①町の認識はどれくらいか ②8050問題にどう対応していくか でした。

町政については、町長ご自身の口から、前向きな答弁を頂きました。町長がこれまで築いてきた絆を大切にしながら、町民の皆さんとコミュニケーションを取っ



(令和5年12月18日 一般質問の様子)

ていきたいという意気込みが感じられました。人口減少に関しては、調整区域等の問題についてももう少し踏み込んだやり取りができればよかったかな、と思います。総合病院の誘致については病床数の関係で、今のところ誘致は難しいようです。

続いて大人の引きこもりについては、積極的に訪問するなどして実態を把握してはどうかと質問しましたが、行政側からの訪問によって、より引きこもりを悪化させるおそれがあることから、町が訪問して調べるといった手法は用いないという答えを頂きました。しかし8050問題を含めて、大人の引きこもり全般についても危機感をお知らせすることはできたのではないかと感じています。

【兼業することになりました】

とある企業でのサラリーマン時代、総務部に異動になり、何が一番つらかったかといえば、給与が大幅にカットされたことでもなく、人間関係が変わったことでもなく、「全く仕事を与えられないこと」でした。毎日することといえば、ワードやエクセルをいじることくらい。後ろの席では上司が監視しているので、インターネットも見れません。まさに自分にとって「追い出し部屋」でした。これは大変精神的に堪えました。

そんな自分が今、益々忙しくなりそうです。

町議会議員の仕事と並行して、サラリーマン生活が始まることになりました。お世話になるのは、前職です。先述の職場での長期に渡るパワハラ・それに追い打ちをかけた「追い出し部屋」攻撃で、自分の精神はボロボロになっていました。



その精神状態のまま前職に就いたはいいいものの、やはり無理がたたったのか、仕事を全うすることができませんでした。結果的に短期間で仕事を辞めることになってしまい、大変な迷惑をかけてしまいました。

なぜ前職への復帰を果たせたかという点、第一には議員活動への理解がある点です。

議員としての仕事をおろそかにしないよう、という前向きな条件で再雇用の話をさせていただきました。第二には、これが一番大きいのですが、前回の恩返しをしたかったという点です。病んでいるということを知りながらも仕事を続けさせていただき、先述したように辞める際には非常に大きな迷惑をかけてしまいました。にもかかわらず理事長はじめ職場の皆さんにはいつも温かい言葉をかけていただいたことは、感謝してもしきれません。そんな職場に今自分ができることは、やはり少しでも仕事でお返しをすることだと考えました。

新しい仕事に就いて、配属も正式に決まりました。学童保育です。新しい「先生」に、子供たちは興味津々で近づいてきます。参ったのは、授業後に「サインくださいーい」と頼んできた女の子たち。そんなもの書いたことありませんが、ええい気分は大谷翔平だ！

そんなこんなで、一日はあわただしく過ぎていくのでした。

